

沼津工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	選択外国語 (英文法復習)
科目基礎情報					
科目番号	0028		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	物質工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	Prime English - Grammar and Vocabulary - 文法と単語から学ぶ基礎英語 角岡賢一 David Dykes 著 Cocet 3300 理工系学生のための必修英単語3300 亀山太一 監修 その他担当者が準備するプリント教材				
担当教員	(英語科 非常勤講師) 廣田 友子				
到達目標					
①問題演習を通して英文の基本構造を理解し、平易な英作文ならば適切な表現を使用して作成できるようになる。 ②英検準2級～2級の長文読解問題に対応できる程度の英文法力及び語彙力を身に付ける					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	英文の構造が十分理解でき、英語による適切な表現力が身につけている。		英文の基本構造が理解でき、英語による表現力がおおむね身につけている。		英語の基本構造を理解できず、英語による表現力が身につけていない。
評価項目2	英語検定2～3級程度の英語力が十分身につけている。		英検2～3級程度の英語力が身につけている。		英検2～3級程度の英語力が身につけていない。
学科の到達目標項目との関係					
【本校学習・教育目標 (本科のみ)】 4					
教育方法等					
概要	本講座は1、2年次に履修した英語Wの復習を基本とする。最終的には、大学教養課程レベルの英語力を身に付ける事を目指す。				
授業の進め方・方法	各文法項目に対応した英作文演習を中心に授業を進めるが、それと並行して 巻末の語彙集を利用して語彙力の強化も図っていく。本授業科目では 出来るだけ多くの演習問題に触れる。				
注意点	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 3.必要に応じて進度や教材を変更する場合があります。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション/Chapter1	授業の進め方と評価方法を理解する。品詞を理解する	
		2週	Chapter2	主語・目的語・補語 の特性を理解する	
		3週	Chapter3	名詞・代名詞 とは何かを理解する	
		4週	応用問題	TOEIC、英語検定等 演習問題 に取り組み知識を確認する	
		5週	Chapter4	動詞を理解する	
		6週	Chapter5	時制の使い分けができるようになる	
		7週	試験前のまとめ	Chapter1～5、試験問題のまとめを行いテスト対策をする	
		8週	中間試験	到達度テストで理解を確認する	
	2ndQ	9週	Chapter6	形容詞と副詞について理解する	
		10週	Chapter7/Chapter8	比較級と最上級/前置詞と接続詞について理解する	
		11週	応用問題	TOEIC、英語検定等 演習問題 に取り組み知識を確認する	
		12週	Chapter9	助動詞を理解する	
		13週	Chapter10	否定、疑問、命令文、感嘆文 を理解する	
		14週	試験前のまとめ	Chapter7～10、試験範囲のまとめを行い、テスト対策をする	
		15週	Chapter11	不定詞を理解する	
		16週			
後期	3rdQ	1週	Chapter12	現在分詞と過去分詞を理解する	
		2週	Chapter13	動名詞を理解する	
		3週	応用問題	TOEIC、英語検定等 演習問題 に取り組み知識を確認する	
		4週	Chapter14	完了形を理解する	
		5週	Chapter15	受動態を理解する	
		6週	試験前のまとめ	Chapter11～15、試験範囲のまとめを行い、テスト対策をする	
		7週	後期中間テスト	到達度テストで理解を確認する	
		8週	Chapter16	語順を理解する	
	4thQ	9週	Chapter17	関係代名詞を理解する	
		10週	Chapter18	関係副詞を理解する	
		11週	応用問題	TOEIC、英語検定等 演習問題 に取り組み知識を確認する	
		12週	Chapter19	仮定法・話法を理解する	
		13週	Chapter20	さまざまな構文を理解する	

		14週	試験前のまとめ	Chapter16～20、試験範囲のまとめを行い、テスト対策をする			
		15週	テスト返却	1年間の総まとめをする			
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0